

## 5) 陸上動物（工事の実施）

### (1) 事後調査を行うこととした理由

建設機械の稼働による影響について、工事直前に踏査を行い、60dBを超えると予測された地点及びその近傍などにおいて実際にズグロミゾゴイの営巣が確認された際には、工事中は繁殖状況の調査を行い、状況に応じて営巣箇所近傍における建設機械の稼働台数の調整を行うなど、騒音低減等の配慮を行うこととしているが、環境保全措置の効果に係る知見が不十分であることから、事後調査を行う。

### (2) 事後調査の項目及び手法

事後調査の項目及び手法は以下のとおりである。

項目	建設作業騒音の測定と繁殖状況の把握
調査地点・範囲	60dBを超過すると予測された箇所周辺のズグロミゾゴイの営巣地
調査時期等	調査期間は工事直前から工事の実施時とする。 調査時期は繁殖期間（4～6月）とする。
調査方法	空港施設予定地内において工事前に踏査を行い、繁殖が確認された場合、工事中の繁殖状況や行動などについて目視調査を行い、同時に騒音レベルを測定する。調査結果に応じて建設機械の台数調整などを行う。

### (3) 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが明らかになった場合の対応の方針

事後調査委員会（仮称）を設置し、指導・助言を受けて、環境影響の回避・低減措置の強化や改善を図る。